

# 10章 総合問題10

## 問題

【1】

### 解答

ア h イ f ウ d エ b 才 a 力 e

### 解説

アメリカでいま最も深刻な公衆保健問題になっている「肥満病」の原因について論じた文章である。

- ア 直後に Consider …という文があって、具体的な統計が挙がっていることに注目。何かの問題について検討しようとしている、と予想できる。したがって、その直前のアには、問題提起をするための文を入れるのが適当である。
- イ 直前の文では、肥満は裕福な地域ではなく、貧しい地域で問題になっているという主張が展開されている。パラグラフの途中であることを考えると、イには、その主張をさらに裏付けする内容の文がくる可能性が高い。選択肢 f が Moreover (さらに) で始まっていることがヒントになる。
- ウ 直前の文では「身近な事実がいくつかある」と書かれているため、ここでは、それがどういう事実か述べられるのが自然である。
- エ 直前には、あるビザチェーンが「太陽より大きい」という宣伝文句を使っているとある。この「太陽より大きい」という例えと選択肢 b の exaggerated (誇張された) を結びつけられれば、正解が選べるだろう。
- オ このパラグラフは、アメリカ人が肥満化した背景を説明した最後のパラグラフである。次のパラグラフは、その肥満化の社会的影響を述べている。この2つのパラグラフをつなぐのに最も自然な文を探す。次のパラグラフ冒頭の the fattening trend という語句に気がつけば、選択肢 a の the fattening of America と結びつけられる。
- カ パラグラフの最初の文だから、パラグラフ全体をまとめるような文が入ると考えられる。したがって、このパラグラフで何が述べられているかを調べればよい。パラグラフの内容が完全に理解できなくても、最後のパラグラフであることから、文章全体の結論、あるいは、問題の解決策のようなことが書かれていると予想できるだろう。それにふさわしい「まとめ」の言葉を探す。

### 全訳

アメリカは世界最大の経済とその最強の軍隊を誇りとしているかもしれないが、同国があまり公言しない世界最高のものは、そこが世界で最も太った人々の住む場所だということである。世界保健機関によると、太平洋諸島に暮らす人々は現在、世界中で最も太った人たちであり、その中でもサモアでは77%の人が「肥満」の範疇に入っている。しかし、アメリカ人もさして劣らず、今にも追いつきそうである。h これは一体どうしてであろうか。

次に挙げる最近の統計について考えてみよう。

○アメリカ人の60%が太りすぎである（太りすぎが健康上の問題に直接結びつくほど太っている）。

○20%が肥満である（寿命が縮まるほど太っている）。

○500万人以上が病的肥満である。——胃の消化機能を抑えるための大手術が必要なほど太りすぎである。この手術を専門とする外科医の数は需要に追いつかない。

○19歳未満のすべてのアメリカ人の4分の1が太り過ぎか肥満である。

これは必ずしも驚くべき情報ではない。この問題は、数十年かけて起こってきてているものだからである。そして、その原因についての説明は十分になされている。アメリカ人は裕福である。アメリカの文化は、長きにわたって安全でいることよりも、いま満足感を得ることを、そして、質よりも、量と大きさを大切にしている。アメリカ人は文化的に進歩しないまま経済的成功を達成してしまった。アメリカ人は本当に食べ過ぎなのである。

このような、たびたび試みられる説明のはほとんどは、あまりにも単純である。確かにアメリカは全体として、世界の大部分と比較すると裕福ではあるが、その国民は極めて富裕な人々から極めて貧しい人々までさまざまであり、太りすぎが最も大きな問題になっているのは、比較的貧しいアメリカ人の間においてである。**f** さらに、肥満は多くの発展途上国において深刻で、ますます大きくなっている問題であるが、西ヨーロッパのはるかに裕福な国々では、そうではない。アメリカ文化の価値観や洗練の度合いに関する主観的な見方については、これから長い間、議論的になるに違いないが、一方で、身近な事実がいくつかある。**d** 今日のアメリカ人は食べ過ぎで、しかも悪い物を食べ過ぎていることは紛れもない事実である。

肥満化傾向は1970年代に急に現れた。マクドナルドの取締役のデイビッド・ウォーラースタインが創業者に、1人分の食べ物を大きくして売るよう説得したときである。彼の論拠は、客はフライドポテトを2袋も買うことで大食いのように見られるのは嫌がるが、サイズが大きいものには少し余計にお金を払うものだということだった。ウォーラースタインは映画館のチェーンでの職から出発した。そこで彼はソーダとポップコーンの売上を伸ばそうとした。それは、映画館が儲けを得るために頼っていた利益の多い商品だった。彼は、値引きや2つ買うと1つをただにするなど、販売を増やすために考えられることは何でもした。しかし、ソーダ1本とポップコーン1箱より多くを客に買わせることはできなかった。お代わりを買いに戻ると、客は自分が食いしん坊のように感じるからである。それで、彼は、ポップコーンやソーダの1人分の量を多くして売れば、客はその分、もっとお金を使うということに気がついた。

ウォーラースタインはこの方法をマクドナルドのジャンボ・フライドポテトとビックマックに取り入れた。バーガーキングはホッパー、そしてダブル・ホッパーで対抗した。マクドナルドのフライドポテト1人分は、1960年代の200カロリーから徐々に現在の610カロリーに増えていった。20世紀の終わりには「スーパーサイズ化」が一般的になった。アメリカのコンビニはソーダを32オンスと48オンスだけでなく、64オンスのサイズでも売っている。あるジャーナリストが言ったように、「ふたは中身がこぼれないようにするためにあるのか、客が誤って中に落ちないようにするためにあるのかわからない」ほどである。多くのステーキハウスでは20オンスのステーキが標準であり、リトルシーザーのピザチェーンは「お日

さまより大きい」ピザを売り物にしている。b この宣伝文句はほんの少しだげさである。

スーパーサイズ化がビジネス戦略として機能する理由は、アメリカでは基本的な食材が安いことがある。ソーダやポップコーン、フライドポテト、ハンバーガーの素材は、客に求める値段のほんの一部にしか相当しないので、1人前を大きくすれば、あまりコストを上げることなく、売上を増やせるのである。

こうした素材がそれほど安い理由は、1970年代の初期に定められた、政府の農業政策にさかのぼる。そのころ、食料の価格が大変上昇していて、当時のニクソン大統領と共和党に強い政治的圧力がかかるほどであった。高騰する価格は農家を困らせ、消費者は食料の値段、特に砂糖やチーズ、肉などの基本食材の値段の上昇に憤慨していた。ニクソン政権は、アメリカの農家に生産の拡大を促し、それを可能にするために多額の農業補助金を注ぎ込むことで対応した。

その結果生まれたトウモロコシの余剰によって高果糖コーンシロップが開発され、国際貿易の増加によって安いパーム油が輸入された。共にインスタント食品、スナック食品の主原料になった。そして、両方とも脂肪価がとても高い。トウモロコシをエサにしている牛の肉の価格も下落し、ファストフードの主原料になった。a この日常の食べ物の変化が、運動をしないライフスタイルと組み合わさり、アメリカの肥満化を招いたのである。

肥満化の影響は国中に広がっている。アメリカでは、レストランやスタジアムの椅子のサイズが大きくなり、衣類のサイズを表す尺度も決め直された。しかしながら、最も重要なのは、肥満が健康に大変な悪影響を及ぼしているということである。肥満によって、高血圧、心臓病、糖尿病になる危険性が非常に高くなる。2000年には1,500万人のアメリカ人が2型糖尿病と診断されたが、1991年にはそれが900万人であった。さらに悪いことに、この病気を患うのは以前は中年だけであったのに、現在、何百万人もの患者が子どもである。

e この問題にどう対処できるか述べるのは簡単ではない。親の間では、学校からファストフード店を追い出したり、体育の授業を復活させようとする動きが出てきている。ファストフードのチェーンに対して法的手段さえ取られている。しかし当面は、肥満の危険性を認識し、肥満を防ぐためにライフスタイルを変えることは、主に1人ひとりの人間とその家族の責任のようである。

## 注

ℓ. 1 ◇ boast 「誇る」

◇ military 「軍隊」

◇ one superlative that it has not quite claimed

○ この部分が文の主語で、動詞は次に続くis。

○ it = America

○ superlative 「最高〔無比〕のもの」

○ claim = state as being true (without being able to give proof)

ℓ. 3 ◇ the World Health Organization 「世界保健機関」

○ 国連の専門機関の1つ。保健衛生向上のための国際協力を目的として1948年に設立された。

◇ Pacific Islander 「太平洋諸島に暮らす人」

- ◊ presently = now
- ℓ. 4 ◊ Samoa 「サモア諸島」
- ◊ come under the category of ~ 「～の範疇に入る」
  - comeはここでは、have (or achieve) a certain positionの意。
  - category = a class or group of people or things with shared characteristics
- ◊ obese = very fat
- cf. obesity
- ℓ. 5 ◊ far behind 「はるか後ろに」
- farはby a great dealの意味でbehindを修飾している。
  - ◊ catch up = succeed in reaching a person ahead 「追いつく」
- ℓ. 6 ◊ consider = think carefully about
- ◊ statistics 「統計」：複数扱い。
- cf. Recent *statistics* show that more young women than young men smoke.  
(最近の統計によれば、若い男性よりも若い女性のほうが喫煙者が多い。)
- ℓ. 7 ◊ overweight 「太りすぎで」
- ◊ experience 「経験する；感じる」
  - ◊ directly related 「直接に（太りすぎと）結びついている」
- ℓ. 8 ◊ health problem 「健康上の問題」
- ℓ. 9 ◊ so fat that … 「…なほど太っている」
- ◊ lives < life 「寿命」の複数形
  - ◊ cut short 「縮める」：ここでは受け身で使われている。
- ℓ. 10 ◊ morbidly < morbid 「病的な；病気を起こす」
- ◊ drastic 「徹底的な；思い切った」
- ℓ. 11 ◊ surgery 「手術」
- prevent ~ from … *ing* 「～が…することを妨げる」 (stop ~ from … *ing* の文型も同じ意味)
- cf. Scheduling conflicts *prevented* many people *from* attending the conference.  
(スケジュールの調整がうまくいかず、多くの人がその会議に出席できなかつた。)
- ◊ digest 「消化する」
  - ◊ surgeon 「外科医」
  - ◊ specialize in ~ 「～を専門とする」
  - ◊ this technique : ℓ. 10 のdrastic surgery to prevent their stomachs from digesting foodのこと。
- ℓ. 12 ◊ keep up with the demand 「需要に応じて増加する」
- demand 「需要」 ⇔ supply 「供給」
- ℓ. 13 ◊ quarter 「4分の1」
- ◊ under age nineteen 「19歳未満」
  - underは日本語の「以下」と違い、次に来る数字を含まない。この文脈で「19歳以

下」と言う場合は、age nineteen and underとする。

cf. eighteen and over (18歳以上)

ℓ. 14 ◇ not exactly ~ 「必ずしも～ではない」

◇ as the problem has been … : このasは「～なので」という意味で、理由を表している。

◇ develop = become larger or more advanced : ここでは自動詞として使われている。  
cf. How has he *developed* a sense of humor?

(彼はどうやってユーモアのセンスを身につけたのだろうか。)〈他動詞としての用法〉

◇ over the course of ~ 「～のうちに」

○ course = progress in space or in time

ℓ. 15 ◇ decade = a period of ten years 「10年(間)」

◇ there has been no shortage of ~ 「～に不足はない；～は十分ある」

○ shortage = a situation in which there is not enough of something needed

◇ explanations (which are) suggested

○ There is / are で始まる構文では関係代名詞が省略されることが多い(特に口語)。

○ suggest = put forward for consideration 「提唱する；提案する」

ℓ. 16 ◇ emphasize A over B 「BよりもAを重要だと考える」

○ emphasize = give special importance to

◇ instant = immediate; coming or happening at once

◇ gratification 「欲求の充足」 < gratify = give pleasure or satisfaction

◇ long-term 「長期間の」

ℓ. 17 ◇ security 「安全；安心」 < secure = certain to remain safe

◇ (emphasize) quantity and size over quality 「質よりも量と大きさを(重要だと考える)」

◇ achieve = get or reach by effort

◇ economic 「経済上の」 < economy 「経済」

ℓ. 18 ◇ refinement = improvement

ℓ. 19 ◇ Of ~ 「～の中で；～のうちに」

◇ often-offered : このofferは前出(ℓ. 15)のsuggestと同じ意味。

◇ simplistic 「単純に割り切りすぎた」

◇ While … 「…であるけれども；…である一方で」

◇ it is true that … 「…は本当である」

○ itはthat以下を指す。

ℓ. 20 ◇ ~ as a whole 「～は全体として」

◇ wealthy = rich

◇ in relation to ~ 「～と比べて」

cf. You can talk about something *in relation to* something else when you want to compare the size, condition, or position of the two things.

- ◇ range from A to B 「A から B にわたる；A から B までさまざまである」
- ◇ the very rich = very rich people
  - cf.* the very poor = very poor people
- ℓ. 21 ◇ it is among poorer Americans that … 「…ということは、比較的貧しいアメリカ人の間で起こっている」
  - among poorer Americansを強調した強調構文。
  - ◇ gain 「増加」
- ℓ. 22 ◇ subjective = based on or influenced by personal opinions 「主観的な」
  - ◇ view = an attitude or opinion
  - ◇ values 「価値観」
  - この意味では常に複数形
- ℓ. 23 ◇ no doubt = certainly; probably
  - 副詞句であることに注意。
  - ◇ debate = discuss or argue about
  - ◇ at hand 「目前に；近い将来に」
    - cf.* The prime minister stressed the need to resolve the issues *at hand* peacefully through dialogue.  
(首相は、当面の諸問題を、対話によって平和的に解決することの必要性を強調した。)
- ℓ. 25 ◇ trend 「傾向」
  - ◇ take off = begin
  - ◇ in the 1970s when …
    - このwhenは直前の1970sを受ける関係副詞。「1970年代」に何があったか、whenの後で述べられているのである。
  - ◇ director 「取締役；重役」
    - 一般にboard of directorsと言えば「取締役会」のことである。
- ℓ. 26 ◇ persuade ~ to … 「～を説得して…させる」
  - ◇ portion = an amount of food suitable for or served to one person 「一人前」
  - ◇ rationale 「論理的根拠；理屈」
- ℓ. 27 ◇ glutton 「大食家；食いしん坊」
  - ◇ fries = French fries 「フライドポテト」
- ℓ. 28 ◇ had gotten his start working for ~ 「～で最初の仕事についていた」
  - 過去完了形になっているのは、前出のマクドナルドの話よりも、さらに以前のことだからである。
- ℓ. 29 ◇ boost 「(生産・売上などを) 増やす、伸ばす」 このboost salesはℓ. 30でincrease salesと言い換えられている。
  - ◇ markup 「利益 (率)」
    - cf.* high *markup* items (利益率の高い商品)
- ℓ. 30 ◇ make a profit 「利益を得る」

ℓ. 31 ◇ two-for-one sale 「1つの値段で2つを売ること」

◇ get people to buy ~ 「人々に～を買わせる」

○ 〈get + 人 + to …〉 で「人に…させる、 …してもらう」という意味。

◇ more than one soda and one box of popcorn

A

「ソーダ1本とポップコーン1箱より多く」

○ “more than A (数) ” は A を含まない

ℓ. 32 ◇ going back for seconds 「お代わりを買いに戻ること」

○ second は「お代わり」という意味の名詞。

◇ pig 「食いしん坊」

ℓ. 33 ◇ so long as … 「…する限りは；…さえすれば」

◇ come in ~ 「(商品が) ~の形で売られる」

*cf.* The new plasma-display TVs will *come in* three sizes — 50-, 42- and 37-inch screens.

(その新型プラズマ液晶テレビは、 3つのサイズで発売される。—— 50 インチ, 42 インチ, 37 インチの画面である。)

ℓ. 34 ◇ serving 「(食べ物・飲み物の) 1人分」

ℓ. 36 ◇ respond = say or do something in reply or as a reaction

◇ an order 「1人分の注文品」：前出のportion, servingを言い換えたものである。

ℓ. 37 ◇ in stages 「徐々に；段々と」

◇ calorie 「カロリー」

◇ present 「現在の」

ℓ. 38 ◇ by the end of the century : これより前に、「1960 年」という年代が出てきているので、このthe centuryは「20世紀」を指す。

◇ rule = have a power over (a people or country)

ℓ. 39 ◇ oz. = ounce (s) 「オンス」重さの単位。16 oz. = 1 pound, 1 oz. = 28.35 grams

◇ put = express in a particular way

*cf.* Let me *put* it this way then ~ (では、こう言いましょう~)

◇ One wonders if … 「…かどうか不思議に思う」

○ このoneは人一般を指す。

◇ lid 「ふた」

ℓ. 40 ◇ keep ~ from … *ing* 「～が…しないようにしておく」

◇ content 「中身」

◇ spill 「こぼれる」

◇ or the customer from …

○ この部分は、直前のkeep the contents from spillingと並列の関係である。同じ言葉の繰り返しを避けるため、or to keep the customer from … のto keepが省略されている。

◇ accidentally 「はからずも；偶然に」

- ℓ. 41 ◇ advertise 「広告する；宣伝する」
- ℓ. 43 ◇ work 「機能する」
- ◇ strategy 「戦略」
  - ◇ cost 「値段；費用」
- ℓ. 44 ◇ foodstuff 「食材；食料品」
- ◇ Since … 「…なので」
  - このsinceは理由を表す接続詞で、相手もすでに知っていると思われる事実について使われる。
  - ◇ raw material 「原材料」
- ℓ. 45 ◇ represent ~ 「～になる；～に相当する」
- ◇ fraction = a very small part or amount
- ℓ. 46 ◇ multiply = increase in number or quantity
- ℓ. 47 ◇ go back to ~ 「～にさかのぼる；～に起源がある」
- ◇ policy 「政策；方針」
- ℓ. 48 ◇ agriculture 「農業」
- ◇ set during the early 1970s 「1970 年代の初期に定められた」
  - setは過去分詞。直前の (government) policies (on agriculture) を修飾している。
  - ◇ a time when … : 直前の1970sと同格になっている。「1970 年代」に何があったかを具体的に説明している。whenは関係副詞。
  - ◇ to such an extent that … 「…という程度にまで」
- ℓ. 49 ◇ then president 「当時の大統領」
- thenは「当時の」という意味の形容詞。Nixonは第 37 代大統領 (1969 ~ 1974)。Watergate事件で辞任。
  - ◇ party 「政党」
  - his partyとは「共和党」(the Republican party)のこと。
  - ◇ face 「直面する」
  - ◇ political = related to or interested in politics
  - ◇ soar = increase rapidly above the usual level
- ℓ. 50 ◇ hurt = damage
- ◇ outrage ~ 「～を憤慨させる」(通常は本文のように受け身で用いられる)
- ℓ. 51 ◇ basics 「基本的なもの；必需品」
- この意味では常に複数形
  - ◇ administration 「政権；政府」
  - ◇ urge ~ to … 「～に…するように促す」
  - urge = encourage or ask earnestly to do something
- ℓ. 52 ◇ subsidy [sʌbsədi] 「補助金；交付金」
- ◇ make it possible
  - itはto produce moreを指す。
- ℓ. 53 ◇ resulting 「結果として生ずる」 < result = happen because of something else

- ◇ surplus 「余剰；余り」
  - ◇ lead to ~ = result in ~ 「結果として～が起こる」
  - ◇ development < develop 「開発する」
- ℓ. 54 ◇ international trade 「国際貿易」 ⇄ domestic trade
- ◇ imports 「輸入品」
  - ◇ palm oil 「パーム油」
- アブラヤシの果肉から得る油脂。マーガリン、食用油のほか、石けんやろうそくなどの原料となる。
- ℓ. 55 ◇ ingredient 「材料；成分」
- ◇ convenience and snack foods
- convenience foodとはインスタント食品やレトルト食品、冷凍食品など、簡単な調理ですぐに食べられる食品のこと。snack foodは「スナック菓子」。ただし、snackが単独で用いられた場合は、ちゃんとした食事と食事の間に食べる「軽い食べ物、おやつ」を指す。
- ◇ fattening 「脂肪が多い；脂肪値の高い」
- ℓ. 56 ◇ corn-fed 「トウモロコシをエサとして与えられた」
- ◇ making it a fast-food staple
- 分詞構文。…, which made it a fast-food staple.と関係代名詞を使って表すこともできる（この場合、whichの先行詞は直前の文全体）。
- itはcorn-fed beefを指す。
- staple = a main or important element of something
- ℓ. 57 ◇ impact = a noticeable effect or influence
- ◇ pervasive = spreading widely through or present everywhere in something 「全面的に広がる」
  - ◇ America has seen ~ : このseeは「経験する」という意味。  
*cf.* The 20th century *saw* a great progress of natural science.  
 (20世紀には自然科学が大きく進歩した。)
- ℓ. 58 ◇ recalibration = re- + calibration < calibrate 「目盛りを定める」
- ◇ clothing = clothes as a whole 「衣類」
- ℓ. 59 ◇ devastating = highly destructive
- ℓ. 60 ◇ blood pressure 「血圧」
- ◇ heart disease 「心臓病」
  - ◇ diabetes 「糖尿病」
  - ◇ be diagnosed with ~ 「～と診断される」
- ℓ. 61 ◇ as compared to ~ 「～と比較して」
- ◇ worse yet 「さらに悪いことに」
- ℓ. 62 ◇ whereas … = in contrast or comparison with the fact that …
- ◇ used to … 「(以前は) …であった」
- 現在はそうではない、という意味が含まれている。

◇ affect = have an effect on

◇ the middle-aged = middle-aged people

◇ victim 「犠牲者；患者」

ℓ. 64 ◇ concession 「(場内の) 売店；売り場」

ℓ. 65 ◇ restore = bring back (a previous practice, situation, etc.)

◇ physical education 「体育」

◇ legal action 「法的措置」

○ take legal action against ~で「～に対して訴訟を起こす」という意味。

ℓ. 66 ◇ for now 「当分は；さしあたり」

◇ it seems … to make themselves aware of

○ itはto以下を指す仮主語。

◇ mainly 「主に」

◇ up to ~ = necessary or required as a duty or obligation 「～の義務〔責任〕で」

◇ individual 「個人」

ℓ. 67 ◇ aware = knowing; conscious

◇ hazard = a danger

ℓ. 68 ◇ avoid = prevent from doing or happening

#### 選択肢 a

◇ Combined with ~ 「～と組み合わさって」

◇ lack ~ 「～を欠く」

◇ physical exercise 「運動；体操」

◇ diet = the kinds of foods that a person, animal, or community usually eats

◇ bring on ~ = cause (something unpleasant) to occur

#### 選択肢 b

◇ claim = a statement that something is true

○ 日本語の「クレーム」とは意味が違うことに注意。

◇ slightly = to a small degree 「わずかに」

◇ exaggerate = make (something) greater than in reality

#### 選択肢 c

◇ urban 「都市〔都会〕の」 ⇄ rural

◇ alike = in a similar way

#### 選択肢 d

◇ definitely = without doubt; certainly 「確かに；まったく」

#### 選択肢 f

◇ moreover = as a further matter; besides 「そのうえ；さらに」

◇ serious = important because of difficulty, danger, possible results

◇ grow = become larger or greater over time

◇ developing country 「発展途上国」 ⇄ developed country 「先進国」

◇ not in some ~ : 同じ語句の繰り返しを避けるため, notの後には a serious and growing

problemが省略されている。

### 選択肢 g

- ◇ document = make a detailed record in written or other form
- ◇ emerge = become gradually visible
- ◇ epidemic 「流行病の発生」

## 【2】

### 解答

「全訳」下線部参照。

### 全訳

運が我々に味方することが、それまでは、あり過ぎたのだ。我々は自己満足に甘んじて、運は我々に忠誠を誓っているものなのだとうぬぼれが過ぎるようになってしまったのだ。だから、運が初めて我々を裏切ることを決めた瞬間は、運が我々を裏切るかもしれないとは全く思ってもみない瞬間でもあった。

### 注

#### ℓ. 1 ◇ chance

- ① U *the happening of events without any cause that can be seen or understood; the way things happen* 「偶然；運」

cf. Let's leave it to *chance*. (それは運に任せよう。)

cf. by *chance* (ふとしたことから)

by some *chance* (どうしたはずみか)

- ② U *a possibility of something happening* 「理論上の可能性」

cf. He has little *chance* of success. (彼には成功の見込みがほとんどない。)

- ③ C *(chances) the probability of something happening* 「現実の可能性」

cf. The *chances* are ten to one that he will win.

(彼が勝つ公算は 10 対 1 でまず確かだ。)

- ④ C *opportunity* 「好機；チャンス」

cf. one *chance* in a thousand (千載一遇のチャンス)

- ◇ ally = a person or organization that cooperates with or helps another (同盟者；同盟国)

cf. alley = a narrow passageway between or behind buildings (小路；横丁)

alloy = a mixture of two or more metals (合金)

- ◇ grow = become gradually or increasingly

- ◇ complacent = uncritically satisfied with *oneself*; self-satisfied; smug

cf. in *complacent* ignorant (何も知らないでいい気になって)

- ◇ its loyalty < it is loyal

○ its = chance's

○ loyalty = the state of being loyal; a strong feeling of support

< loyal = firm and constant in *one's* support for a person, *one's* country, etc.

- ℓ. 2 ◇ when : 関係副詞／先行詞はthe moment
- ◇ it = chance
  - ◇ first = ① *for the first time* ② sooner; rather
  - ◇ choose = decide on a course of action
  - ◇ betray = ① act treacherously towards (*one's country*) by helping the enemy  
② *be disloyal to* ③ reveal (something) without meaning to
- ℓ. 3 ◇ be least likely to … 「…する可能性が最も低い」
- likely = probable
- ※ leastの用法には習熟が必要
- The *least* debt must be paid. (ほんの僅かな借金でも返さねばならない。)
  - The *least* noise and all would be over. (少しでも音を立てると万事休す。)
  - He is, to say the *least* of it, very frugal. (彼は、ごく控え目に言っても、大変な儉約家だ。)
- ◇ suspect = believe (something) to be likely or possible
- cf. doubt = feel uncertain about; be unable to believe or trust
- ◇ it might (betray us)
  - it = chance

### 【3】

#### 解答・解説

- (1) a
- (2) AEI's
- A ; E ; I ; O ; U のうちの任意の 3 個の組合せを示す。
- (3) d
- 「アルファベットの順番を今日変えることは、メートル法に変わることよりも一層困難であろう。」
- e no less easy than ~ 「～に比べると、ゼロ分だけ少なく easy」 ⇒ 「～に劣らず簡単」 (≈ as easy as ~)
- (4) One
- Numberに合わせて大文字で始めるべき。
- (5) A
- 固有名詞の先頭の文字なので大文字にする。

#### 全訳

今日、我々はアルファベットを世の中の既定の事実として受け入れている。「ABC を覚えること」は我々が子供たちにさせる最初の勉強の 1 つである。子供向けの図書室の区画丸々全部がアルファベットの本で占められている。アメリカではほとんどの子供が「アルファベットの歌」を歌うことができ、「セサミ・ストリート」のようなテレビ番組に膨大な金額が注ぎ込まれている。それは文字の名、発音、形を教えることをその主要な目的の 1 つとしている。

我々がアルファベットを並べる順番は純粋に恣意的な決定であった。母音だけを切り離して先頭に掲げたり、文字を使用の頻度に従って並べれば、より合理的であろう。もし使用の頻度が用いられたならば、ABCは代わりにETAになっているであろう。そしてアルファベットは次のような姿になっているであろう：

etaonrishdlfcmugypwbvkJqz

しかし、アルファベットの順番を今日変更することは、おそらくメートル法への変更を取り巻く混乱状態を単純なものに見せるであろう。我々は現在のアルファベットの順番に非常に慣れ親しんでおり、例えば名簿や成績評価のようなものにおいてそれを数字の代用品として用いている。等級Aや品等Aと認定されるものは、即座に「第1級」であると見なされる。企業は1個、2個、あるいはそれ以上の数のAで始まる名称を自らに与えるが、それは電話帳の筆頭に掲載されるようにするためである。アルファベット順は数字順に優る利点を持つが、それはどの人物もどの事物も皆、名称を持つが、必ずしも数字は持たないという点においてである。これは単語も書類綴じも人間も皆、数字順には並べられなかろうが、アルファベット順には並べられるということである。

注.....

- ℓ. 1 ◇ one's ABC's = the ABC's ABC's = ABCs pl.
- ℓ. 2 ◇ which : 行き詞はthe first academic endeavors
  - ◇ launch = put (something) into action; start
- ℓ. 4 ◇ massive = exceptionally large < mass = a large number or amount
- ℓ. 5 ◇ which has (as one of its major goals) teaching ~
  - ◇ letter = any of the alphabetic symbols
- ℓ. 7 ◇ order = sequence; succession
  - ◇ which : 行き詞はthe order
  - ◇ arbitrary = based on random choice or personal whim, rather than any reason or system 「恣意的な」
  - ◇ would : 假定法, to list … or to put …が条件
- ℓ. 8 ◇ vowel [váuəl] = a, e, i, o, u 「母音」 < vocal = of the voice
  - cf. consonant 「子音」
    - diphthong 「二重母音」
    - ◇ according to = in proportion to < accord = agree
- ℓ. 9 ◇ instead = as a substitute
- ℓ. 12 ◇ would : 假定法, 主語 (= changing ~ today) が条件。
  - ◇ make + A + … 「Aに…させる」
  - A = the confusion that … metric system
- ℓ. 14 ◇ alternative [ɔ:ltí:rнətrɪ] 「代替〔方法〕；代替品」 (a substitute)
  - cf. alternative = usable instead of another
    - alter = change
- ℓ. 17 ◇ so that = with the result or aim that